

市民厚生常任委員会

決算認定審査における主な質疑・応答

質問 クワリゾートに平成22年度も3千3百万円の助成があったが、助成開始から17年が経過し、助成額は6億円近くになっている。この件については、市は以前から抜本的見直しを行うとしてきたが、現況はどうか。

答弁 この助成は、当初、入浴施設とプール、トレーニングルームの3点セットの施設の利用を促進する目的で開始した。年数も経過し、あまり良い状態ではないと思うている。今年度中に見直す考えで、検討を行っているところである。

質問 就学資金貸与事業について、医療従事者の地元就職状況はどうか。また、方法や貸与額に問題はないか。

答弁 市内に就職するのは4割程度である。看護師などは慢性的に不足しており、地元定着に向け一層の努力をしていきたい。また、貸与額は月額3万円であるが、今後は貸与額の増額や、貸与対象の範囲を市外の方に広げることも検討している。

質問 医療費抑制につながる特定検診の受診率が約4割と、低いと思うのだが、その原因と対策は。

答弁 特定検診の受診率が低い原因として、3割の方が市内の病院で特定検診の項目を含めた検査をしていることが挙げられるが、今後も特定検診の受診促進を重点目標として努力したい。



補正予算審査における主な質疑・応答

質問 ごみ処理施設修繕事業費350万円は、どのような経緯で支出するのか。また、株式会社日立製作所が行う保守管理との関係はどうか。

答弁 350万円の内訳は、非常用発電機の部品交換で約233万円、受電用高圧電気開閉器の交換で約117万円である。当市と同社の維持補修業務委託の関係は、年2回の定期点検整備や小修繕などは同社が、法定点検等に付随する修繕は当市が責任を持つ契約となっているため、今回、補正に計上している。

閉会・休会中の

所管事項調査

総務文教常任委員会

■7月27日

○(総合計画の)総務文教常任委員会の所管範囲について

○糸魚川市第2次行政改革について

■8月11日

○山ノ井保育園(仮称)の整備について

○平成22年度決算概要について

○財政健全化判断比率について

○平成23年度普通交付税の算定結果について

○柵口温泉センターの無償譲渡について

建設産業常任委員会

■7月19日

○糸魚川ジオパーク戦略プラン(案)について

○能生浄水場の濁水事故について

■9月9日

○糸魚川ジオパーク戦略プラン(案)について

市民厚生常任委員会協議題

■7月13日

○糸魚川市産業廃棄物処理場について

■8月17日

○「健康いといがわ21中間評価改定版(案)」について

